

下水道問題

問 監査でも解明できなかつた点は

答 納得いくまで解明していく



小林 英雄 議員

【下水道受益者負担金問題について】

**問** 村長が監査委員に要求した内部調査報告の監査結果は、村のホームページに掲載されているが内部調査報告書は示されていない。説明会を開き、村民に丁寧の説明すべきでは。

**村長** 村民の行政に対する不信感、信頼を損ねたことをお詫びします。区長連絡会で、経過を説明し、地域役員懇談会でも説明しお詫びしました。今後、村のホームページや広報はくぼ、ユーテレ白馬などで説明していきます。

結果の要約を配布することなども検討しています。

**問** 未解明事項の中で、時効になった負担金の徴収の有無についての調査を約束したが、進捗状況は。

**建設水道課長** 調定額を個々にチェックしています。時効物件の調査は事務量が多く手が回っていませんが、順次行っています。時効物件の徴収は現在9件あり、12月議会で還付金の予算補正をお願いしています。

**問** 監査結果では「書類が存在しない」「推測される」など、疑点点が拡大している。村長は「大変厳しい報告内容を真摯に受け止め、早期の解決と、信頼回復に努力したい」といわれたが、何も解決されていない。疑点点が解明され問題点が明らかになれば、初めて改善・再発防止の対策を考えることができる

のであり、これで終わらせるわけにはいかない。今後も解明を求めていきたいが、ここで終わったとしてあいさつをしたわけではなく、納得のいくまで解明していくことは当たり前です。

**村長** 来年度に東部農業集落排水事業は公共下水道と統合するが、負担金の扱いは。

**村長** 担当課で検討しています。関係者に新たな受益者負担金も含め十分な説明をし、理解をいただきたいと思っています。

**問** 原発事故は収束どころか1年8か月が経っても福島県内外の避難者は16万人、避難先で命を落とす人も少なくない。原発を稼働する限り核のごみが増え続ける。

【原発問題について】

即時原発ゼロの立場に立つべきだが、

ません。

**問** 内部被ばく対策として安定ヨウ素剤を村で用意する考えはあるか。

**村長** 副作用など対策も必要となり、村での用意は考えていません。



小水力発電施設建設予定地